

【22_039/技術系メルマガ】チャンスを見つけたら『焦らず "繋げ" !!』

〇〇さん

こんにちは！クロです。

昨日は、ロンドン初動に備えて、14時以降から徐々にチャートをひとつとおり

確認し始めましたが、初動から僕の型にはまってくれそうかなと期待したGBPJPYが

①波形成からプルバックも無くそのままズルーンと目標利確予定の位置まで言ってしまったので、そっちはスルーでした(笑)

型と違うと思ったら、惜しまず見送るのが当たり前の認識になる事も大事ですね。

その後、NY時間にH1足規模でのいいプルバックが入ったと思ったので

いつも戦う時間帯より遅い時間でしたが、目線通りショートでエントリー。

結果はボラが出ずに建値でしたが、狙う位置としては悪くなかった感じです。

▼ツイート EURJPY(S) 結果:建値撤退▼

<https://twitter.com/fxrealtradelive/status/1490691799165566983?s=20&t=84pVmyBO6UdNkgW5k2Xgeg>

～～

今日は久しぶりに、少し視野を広げて『マルチタイムフレーム分析』の基本を

整理してみようと思います。

これは、『短期足のセットアップ』『タイミング取り』に迷うタイプの方は

この視点を取り入れることによって エントリーの迷い を減らす事にも繋がるので

是非しっかり読んでもらえればと思います。

復習の際にゴチャゴチャしないよう、なるべく簡潔に、短いセンテンスでまとめていくので
頑張って読み進めて下さいね。

┌
└─ ■ 根拠は『焦らず、丁寧に繋ぐ』

『繋ぐ』とはどういうことか？

ここがマルチタイムフレーム分析の根幹たらしめるところになります。

要するに、【複数の時間足で根拠が連動している事を確認する】事。

マルチタイムフレーム分析の要点、目的はこの たったひとつの事 に集約されます。

この【根拠を連動させる(=繋ぐ)】というイメージが最も重要なのですが

言葉で説明するだけではなかなか実践との繋がりが見えてこないというのが

このテーマの最も難しいところとも言えます。。。

そこで、先んじて僕はこんなツイートをしたのですが、覚えていますでしょうか？

▼ツイート:根拠は複数の時間足の連動があると強い▼

<https://twitter.com/fxrealtradelive/status/1490636222443761667?s=20&t=84pVmyBO6UdNkgW5k2Xgeg>

この図が、『マルチタイムフレーム分析の実践例を』僕なりに最も単純に図示化したものなのですが

- ・価格が注目したレジスタンスに到達する(根拠 1)
- ・ライン周辺で終値がブレイクできず、コマ足包み線を作る(根拠 2)
- ・更に下位の時間足で『トレンド転換』『MA下抜け⇒G2』の挙動、三尊の動き(根拠 3)

…といったように、複数の時間足で情報を読み解いていくと

【プライスが今後下に向かう可能性の高い根拠】が、連動した結果として
個々の『根拠となるプライスアクション』が出来ていることが分かりますよね。

そして、もう一つ気付いてほしい事があります。

それは、『エントリーの根拠』は『見つけたその場で“スグ”には機能しない』

つまり、チャンスを見つけても「今だ！！」と飛びつくのは、大抵早とちりになってしまうということです。

いつも通りにチャートを巡回していて、良いセットアップを見つけた時

「しまった！急がないとおいてかれる！」と、慌ててエントリーをするのではなく

『このセットアップは』他の時間足の根拠とどう繋がっているのだろうか？

という視点で冷静に情報を整理出来ると、飛びつきエントリーが減り、エッジ(優位性)の効いたトレードが出来るようになりますよ。